

## 【単年度事業評価様式】

**栄区地域子育て支援拠点事業**  
**令和5年度重点目標評価結果・令和6年度重点目標**

事業実施期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(5年度目／5か年度)
事業の実施者	社会福祉法人地域サポート虹 栄区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを生み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 栄区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営</li> <li>2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営</li> <li>3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営</li> <li>4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営</li> <li>5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営</li> <li>6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営</li> </ol>
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業)</li> <li>2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業)</li> <li>3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業)</li> <li>4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業)</li> <li>5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業)</li> <li>6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業)</li> <li>7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)</li> </ol>
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。</li> <li>2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。</li> </ol>

## 令和5年度重点目標の評価

令和5年度重点目標①	子どもの健やかな育ちを支えるために親支援(妊娠期を含む)の充実を図ります
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き、区と協力して妊娠期から切れ目のない支援を行い、育児不安の軽減に努める。</li> <li>●父親の仲間作りを通して、父親としての役割や子への向き合い方を考える機会を作る。</li> </ul>

取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>妊娠期からの支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期の夫婦を対象に「Welcome! プレママ・プレパパDay」を毎月定員を8組に増やして開催。出産後のイメージ作りが難しいという声を受け、沐浴体験では、実際に沐浴を行う場所や時間帯等を参加者から聞き取りながら、具体的に出産後のイメージを持つことができるように努めた。実施後に行ったアンケートでは満足度が高い結果となった。毎月、個別対応も柔軟に対応して実施した。</li> <li>・外国籍の妊娠期夫婦には英語ができるスタッフと連携し、文化の違いからくる出産や育児への不安を聞きとり、情報収集や提供に努め、寄り添いを行った。</li> <li>・先輩夫婦の体験談の時間では、妊娠期のうちにやっておくと良い事、出産後の夫婦各々の考え等を聞き、夫婦で協力して育児をしていくために大切な事を考える機会となった。</li> <li>・出産後の相談先や情報収集の場として拠点を周知し、不安軽減に繋がるよう努めた。</li> <li>・妊婦体験にボランティアの助産師が参加し、妊娠後期の母体についてやサポートに必要な事を直接伝えられ、父親が出産を理解するためにとっても効果があった。</li> <li>・拠点で取り組むには不十分である生後4か月までの母親支援については、区との定例会で話し合い、区で実施できるよう連携をとった。</li> <li>・父親の育児休暇の時期について、妊娠期の夫婦と利用者が関わるプログラムを通して、相談できる場となった。</li> </ul> </li> <li>●<b>父親支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・隔月の第4土曜日午前に父子のみで参加できるひろば「パパりんくの日～子どもと出かけてママの時間を作ってあげよう」を開催。父親同士の交流の中で父親としての役割や育児方法、子どもへの向き合い方を考える機会となった。</li> <li>・副流煙が子どもに与える影響や家庭内での事故予防クイズ等を行う事で育児中の安全対策を知る機会となった。</li> <li>・土曜日開催のプログラムへの参加をきっかけに平日のプログラムにも父親の姿が目立つようになった。</li> </ul> </li> <li>●<b>親支援</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長に寄り添う中で、他児との成長の違いや集団になじめないと不安になる親が増えている。話をよく傾聴し、子どもの成長には個人差がある事や親自身の関わりについても助言を交えながら、継続的な成長の変化を具体的に伝え、成長の見通しを持てるよう寄り添いを行った。</li> <li>・発達がゆっくりな子や特性がある子の支援についても定期的なプログラム「プチおやこあそび」や「のびしろクラブ」を開催。「のびしろクラブ」は開催時間を午前に変更し、1階のひろばでは過ごすのが難しい子も安心して過ごせるように環境に配慮した。療育センターと連携して、「のびしろクラブ」のポスター掲示やプログラムの周知をしてもらい、プログラム参加につながった。</li> </ul> </li> </ul>
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期のプログラムに夫婦参加が難しい方やひとり親の方については来館がなかったので、母子保健コーディネーターと連携して、個別で体験や情報提供ができるようにしたい。</li> <li>・妊娠期のプログラム終了後に1階のひろばで利用者親子と交流する時間が少なかったため、来年度は開催時間を早めて、ひろばでの交流時間を作りたい。</li> <li>・平日休みや育休中の父親が増えたことから、父親向けの交流会を平日に開催したい。</li> </ul>
令和5年度 重点目標②	<p>拠点のネットワークを活かして、地域の子育て支援機関や団体と協力し、「子育てしやすいまちづくり」を目指します</p>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区内の子育て支援機関やサロン、園庭開放等に出向いて、連携意識を高め、その地域の強みや弱みを知る。</li> <li>●拠点内外で収集した情報を子育て支援団体連絡会で共有し、課題解決に向けた方針を検討する。</li> </ul>

取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●乳幼児親子の新しい居場所作り 「長尾台町内会館のけやきカフェ」</li> <li>●拠点が培ってきたネットワークをもとに各地域での情報収集を行い、それぞれの強みや弱みを知ったことから、新しい居場所作りに協力した。 拠点から遠い長尾台地域で町内会が運営する「けやきカフェ」を乳幼児の親子の居場所となるよう、環境設定等打ち合わせを行い、定期的に出張ひろばを開催した。毎回10組以上の親子が集まり、ニーズの高さを感じた。 出張ひろば2回、けやき公園での遊び1回、出張育児相談会1回</li> <li>●こうした取り組みをきっかけに来年度、区役所の育児教室をニーズの高いこの地域で開催する運びとなった。</li> <li>●子育て支援団体連絡会で各地域の活動情報を共有し、相談や活動に役立つ研修を重ね、公田地区の保育園・学童の見学会が実現した。コロナ禍以降初めて施設内部の様子も見られ、活動の様子も直接聞くことができ、有意義な時間となった。</li> <li>●栄区の子育て支援機関・団体の一覧表「つながリスト」は来年度に更新予定となった。</li> </ul>
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●栄区地域福祉保健推進会議により、新たな地域で子育て世帯の居場所が不足しているという声を受け、居場所作りを検討する。</li> </ul>

### 次年度重点目標

令和6年度 重点目標①	多様な養育者に向けた支援の充実をはかります
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●母親だけでなく父親にとっても相談しやすい環境やしきみを作る</li> <li>●育休中の父親に向けた交流会や居場所を作る</li> <li>●多様な養育者(外国籍の方を含む)が訪れやすい環境やしきみを作る</li> </ul>
令和6年度 重点目標②	引き続き、拠点のネットワークを活かして、地域の子育て支援機関や団体と協力し、「子育てしやすいまちづくり」を目指します
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●養育者や支援者に必要な情報を届けられるしきみを作る</li> <li>●各地域の情報を共有し、ニーズや課題を探り、解決に向けて連携するための機会を作る</li> </ul>